



Let's do it now!

2022に向けて誇りを持って All is well.

2020-2021年度 古田 裕和
西日本区理事

■各部で知恵を出し合って今できる何かを考えていただき実現していきましょう！

8月は特に西日本の各地で猛暑日が続きました。新型コロナウイルスと熱中症のダブル対策で大変つらい日々を過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。

また新型コロナウイルスの蔓延がなければデンマークのオーデンセで行われる予定だった国際大会に行かれる予定だった方も少なからずいらっしやったと思います。

私も行く予定でしたが残念ながら……でした。大会は中止になりましたが8月15日・16日にアジア太平洋地域の役員就任式と評議会が Zoom で行われ参加しました。事前のリポート提出も英語で、当日もちろん英語で、英語が得意でない私にとっては大変な会議ですが周りの皆さまに支えられてなんとか2日間の会議を乗り越えることができました。

さて今期が始まって2ヶ月がたちますが、クラブの活動状況はいかがでしょう。各クラブのプリテンを読ませていただいています。そこから見えてくる状況はクラブによって様々な工夫をして例会や委員会などが開かれているということです。通常通り例会場での例会 Zoom 等を使ってのオンライン例会、例会場と Zoom を組み合わせたハイブリッド例会など、それぞれクラブの事情を考えて今できる最高の活動をされていることがよくわかります。また、今期は各部長の例会公式訪問は行わないというか、行えないと考えていましたが各クラブが工夫して例会を開催したりされている結果、部長も例会訪問ができ部の中の繋がりが当初考えていたよりうまくいっているのではないかと思います。

このように各クラブからのプリテンから色々な情報を得ていますが、最近送られてきた京都ウエストクラブの8月号のプリテンに、日本ワイズの温故知新というタイトルで日本のワイズ史が書かれていました。

この記事は田中博之アジア太平洋直前会長が執筆された「マイクロヒストリー日本-92年間を駆け足で振り返って」から、森田ワイズが転載された記事で8月から6回にわたって連載されるようです。

また同じくワイズの小窓というコーナーも執筆されていて、ここではワイズメンとは、ワイズメンズクラブとは、について考えるための記事が書かれています。これも連載です。一度皆さまも是非読んでみてください。

本来なら9月から各部会が順次開催される予定でしたが、残念ながらほとんどが中止になりました。でも各部で知恵を出し合って今できる何かを考えていただき実現していきましょう。よろしくお願いいたします。

2020 国際議会報告

国際議員/アジア太平洋地域次期会長
大野 勉（神戸ポート）

I. 国際議会(ICM20)報告

1. 開催日：2020年8月8日～10日（日本時間19:00～22:00）
2. 開催場所：Zoom 会議室
3. 議決権者：国際議員14名（1名欠席）
4. 主な報告事項

(1) 会員数現況

2020年2月国際半年報確定。1,541クラブ、26,454名
8地域（AFR, ASP, CAC, EUR, IND, KOR, LAM, USA）45区
（詳細は、添付 ICM20 国際協会各種報告書：以下、ICM 報告書：P.77 参照）
メンバー数に対する会費納入率は99.05%

*国際会費の減免を提案しましたが、会費納入は各区によって決定できるが、国際協会が会費で成り立っている、また、会費納入率が99%以上となった現状において、東西日本区がこれを拠出できないと国際が成り立たない、ということで、止む無く、動議を取り下げました。

(2) 国際献金

2019-2020年度の国際献金総額は、CHF(スイスフラン)290,880
献金実額で東日本区は45区中4位、西日本区は2位。
1位はデンマーク区、3位はノルウェー区。
（詳細は、添付 ICM20 報告書：P.71 参照）

(3) 目標

- 会員数 35,860人(ASP: 3,500人)
- PWA レガシープロジェクト CHF 389,000 (ASP: CHF 40,000)
- ASF: CHF 17,549 (ASP: CHF 10,000)
- BF: CHF 99,400 (ASP: CHF 43,000)
- TOF: CHF158,300 (ASP: CHF 34,000)
- EF: CHF 62,800 (ASP: CHF 8,000)
- RBM: CHF 75,700 (ASP: CHF:25,000)

(4) 主な決議事項（全ての決議事項(46項目)は、後述）

- ① 「100日キャンペーン」として、9月1日から12月9日の間に現クラブ会員の配偶者が入会した場合、国際会費が半額となるのは昨年度と変わらないが、クラブメンバー数が15名以上でなくても対象となります。
- ② 26歳～35歳のヤングメンバーが入会した場合、今年度と来年度の2年間の国際会費が半額になります。これは、この年齢のユースは、就職、結婚、子供の誕生など、生活が変わる時期で、それを支援し、定着を図るためのものです。

II. アジア太平洋地域議会報告

1. 開催日：2020年8月15日/16日(日本時間1日目17:00～19:00,2日目：16:00～22:00)
2. 開催場所：ZOOM 会議室
3. 議決権者：各区理事（7名）
4. 主な報告事項
(1)会員数現況

2020年2月国際年報で226クラブ、3,681名。(詳細は、ICM20国際協会各種報告書、以下ICM報告書、参照)

2020年8月国際半年報に比べ、168名の増加。SEA,JWR,JERの順で増加が多い。

■今月の聖句 2020年9月

大事にも小事にも細心の注意を払え。

シラ書 5章 15節

西日本区チャプレン 立野康博(熊本ジェーンズ)

聖書の小窓「小事の見直しから」

インドの童話に、次のようなものを見つけました。

ある日、2人の子どもが話をしていました。

「よその家のモモの木や、スモモの木へのぼって実をもいで食べたら・・・」

「だれだって、いけないと言うにきまってるさ」

「よその家のブタや、ニワトリを盗んできたら・・・」

「もっと、いけないといわれるさ」

「よその家の馬や、牛を盗んできたら・・・」

「それは、ひどい。いけない、いけない」

「つみのない人を殺して、着物をはぎとったり、金をとったりしたら・・・」

「そんなやつは、ころされるよ」

「じゃあ、よその国へ攻め込んで、いくさをしてくるのは、どうなんだ。」

いくさだったらかまわないのかい」「・・・」

これを読んだとき、かなりショックをうけました。確かにそうです。どんな小さな罪をも赦されないとしたら、大きな罪はなおさらです。

しかし、人間はこの大きな罪が、大きすぎてわからなくなってしまったのかもしれませんが。

コロナ禍の中で小事から大事の見直しを求められています。

■2020-2021年度西日本区臨時代議員会報告

西日本区書記 安井基晃

*代議員会返信報告と臨時代議員会成立の確認

定数 98 名のうち、78 名より返信はがきの回答を頂きました。

定数の 3 分の 2 以上の出席を頂きましたので、この臨時代議員会は成立するものと致します。

(ご返信がない場合、賛否欄にご記入がない場合は賛成頂いたものとして取扱いさせていただきます。)

*議案採決報告

- ・第 1 号議案 西日本区定款第 8 条「次期理事等の指名」第 2 項の改訂の件

現行：指名委員会は、直前理事及び部長を持って構成し、直前部長が委員長を務める。

改定案：指名委員会は、直前理事・理事・次期理事・監事 2 名及び部長を持って構成し

直前理事が委員長を務める。

賛成 97 名 反対 1 名 過半数以上の賛成を頂き、この議案は可決されました。

- ・第 2 号議案 名称「連絡主事」を「担当主事」へ変更する件

西日本定款第 3 条第 2 項及び、定款第 19 条第 1 項から第 4 項の「連絡主事」を「担当主事」に名称を変更する。また定款施工細則第 12 条第 5 項、第 9 項及びワイズ用語 73 も同様に変更する。

賛成 97 名 反対 1 名 過半数以上の賛成を頂き、この議案は可決されました。

以上ご報告申し上げます。

■ワイズ将来構想特別委員会

我がビジョンに向かって



ワイズ将来構想特別委員会
委員長 森田 恵三

コロナ感染災禍でワイズ活動も大幅な制約を受けています。この最中、待ちわびた 2020 年 6 月の半年報の会員数は、前年度から 28 名の減少という結果でした。1997 年 7 月西日本区発足後の長年にわたる減少傾向に歯止めをかけ、継続事業として、広くワイズダム回復発展に寄与するとの趣旨をもって設置された、ワイズ将来構想特別委員会には各年理事も委員会に参画していただき、各部に設置された実働チームと共に新生ワイズ起し運動推進に努力して参りましたが未だに歯止めがかかりません。

前年度 28 名の減少は、びわこ部高島クラブ 12 名の誕生や京都部京都グローバルクラブの驚異的な 16 名の入会を含めた 96 名の新会員を受入れながら、124 名という多数の退会者があったことによる結果なのです。毎年退会者数の方が多いという現実を、ぜひ会員の皆様には注視し心にとどめていただきたいのであります。

With Corona は社会のすべてにわたって大変化をもたらし、先行きは定かではない状況ではありますが、Corona にめげず新会員獲得はもとより退会防止には万全の配慮をしながら、**西日本区の発展を希求するビジョン「誇りと情熱をもって社会に貢献する前向きで逞しいワイズ」**の理想に向かって、会員一人ひとりが力強く歩みを進めようではありませんか。

Menettesの強調月間です！

メネットの優しさ、思いやりをワイズ活動に活かしましょう。
皆さまの勇気でクラブが、社会が、変わります。
そして世界も！

メネット例会を開催・参加しましょう

日頃よりメネット事業へのご理解、ご支援をいただき心より感謝申し上げます。9月はメネット強調月間です。各クラブではメネット例会が開催されると思います。メネットの高齢化やお孫さんのお世話で通常例会にはメネットの皆さまの参加がなかなかできないようです。メンの協力で是非、メネット同伴でメネット例会の参加をお願いいたします。メネットの皆さまにとっては日頃、メンが例会で何を発言しているのか、クラブがどのような活動をしているのかを知る良い機会です。8月5日(水)19:00～20:30、メネット事業主査研修会をオンライン会議(ZOOM会議)で開催することが出来、当日は古田裕和理事、関係役員の皆さま(5名)、部長様(8名)、主任様(2名)、主査様(6名)他、計23名のご参加をいただきました。



新型コロナ禍の下、メネットのアイデアを生かし、国内プロジェクトは「各クラブで地域YMCAの支援」をお願いいたします。その報告書を提出いただきます。新型コロナで例会もままならないクラブの事を思い、目標を定めない自由献金にしました。したがって国内プロジェクトへの支援金はございません。国際プロジェクト、RSD(メネット事業主任)支援金も自由献金で結構ですのでよろしくお願い申し上げます。

YMCAは今年、キャンプ100年を迎え、秋には六甲YMCAでキャンプ100年記念シンポジウムが開催される予定です。国内プロジェクトへのメネット献金については「YMCAキャンプ100年記念事業」と「ポジティブネットの活動を行うYMCA」への支援を事業委員会で検討いたします。

YMCAキャンプ 100年記念シンポジウム



メネット事業方針の一つに「ワイズにおけるメネット事業の意義と課題」を掲げました。メネットの位置づけ・メネットとは？メンのパートナー？などが問われております。この事については国際との認識に違いがあることに気付きました。これからの重要課題です。メネット共有認識について昨年、戸所岩雄直前理事が懇談会で共有出来た認識として出されました。メネット共有認識については事業委員会などで検討して進めてまいります。(共有認識についてはメネット事業通信1号に掲載)研修会では各部主査の皆さまから事業方針や部メネット活動の現況報告がありました。研

修会内容につきましてもメネット事業通信1号に詳しく記載しておりますので是非、メネットの皆さまもご覧ください。予定の1時間半で終わることができ、皆さまから貴重な報告・ご意見をいただき、これを踏まえメネット事業を推進してまいります。終了後、希望者のみでの雑談に入り、和気藹々と楽しい時をすごしました。

■新型コロナ (covid-19)対策特別委員会 2020823

新型コロナ惨禍でワイズの活動を衰退させてはならない。

新型コロナ惨禍でワイズの活動を衰退させてはならない。又、縁あってワイズに関わってきたメンバーがワイズを離れざるを得ない状況に陥ることを防ぎたい」との思いで発足した委員会が緊急対策第一弾として行った実態調査アンケートの実施・支援申請の受付・コロナ基金の募集は期限の7月末の結果をみても全クラブに充分には周知が出来ていないとの判断で再度配信し期限を2020年8月末日に延長させて頂きました。

その時点(全てのクラブが周知したうえで判断し申請頂いたと考え)での申請、基金の集まりを以って今回の結果とし支援の内容を決定させて頂きます。

申請のあったものに関して、各クラブにヒアリングをさせて頂き委員会の協議決議を経て執行させて頂き第一弾としての初期の目的を終えたいと思います。

新型コロナの惨禍は終息する気配がありませんが今後どのような推移をたどりノーマルな状態(今までの生活様式とは異なるニューノーマル?)に落ち着くのか判りませんが今後のワイズの在り方、活動の在り方を見据えた対応が必要と思える事項への西日本区が果たすべき役割を担う委員会として今しばらく活動を続けさせて頂きます。

今後の取り組みにあっても今回同様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

新型コロナ (COVID-19) 対策特別委員会 委員長 戸所岩雄

■YMCA報告

神様の導きによって、よき方向が見え、灯が高く掲げられるような働きになることを願っています。

皆様には、まだまだ猛暑の中ですが、いかがお過ごしでしょうか。

今年も各地の豪雨災害が発生しました。私の故郷の熊本県では、水俣市の豪雨に始まり、球磨、人吉地方の水害、そして九州全域での河川氾濫の頻発など、もはや、数十年に一度という考え方は死語となりつつ、年中行事の様相を呈しています。YMCAでは、全国協力の一環として、従来の支援活動を計画しつつ、企業からの支援物資の現地への搬入や、高圧洗浄機40台の搬入など、熊本YMCAなどの活動を通して進めました。また、今年度は、全国YMCAが、東、中、西日本地区を各エリアセーフティの管轄として、ローカルYMCAが、様々な活動において協力するという協働のスタイルを実践しました。現在は、福岡YMCAの大塚総主事が、西日本地区エリアセーフティ担当総主事をされ、地域内の意見のとりまとめや、全国YMCA、日本YMCA同盟などの連携を引き続き模索されております。

一方で、新型コロナウイルス感染の第二波の広がりで、困難にある留学生、専門学校生などへは、大手企業からの食糧支援活動などを継続してきました。お米5kg配布に始まり、アミノバイタル、スープ、ジャージなど、多くの地域で、シェアできていることを感謝しております。国内企業や、外資系の企業などから、YMCAのネットワークを活用した支援に用いてほしいという申し出を複数いただき、具体的な支援の広がりが見えております。

このような中でも、子供たちの夏はやってきましたが、残念ながら夏休み期間の短縮や、プログラムの中止、延期なども多くありました。秋以降の、新型コロナウイルス感染の収束を祈りつつ、毎日の働きを「はなれていてもつながっている」働きの一つとして、神様の導きによって、よき方向が見え、灯が高く掲げられるような働きになることを願っています。YMCAポジティブネット募金の活動も継続していますので、覚えていただければ幸いです。

日本 YMCA 同盟
担当主事 光永尚生 (三島)

■新しい仲間をご紹介します

8/1 入会	善利 知弘	彦根シャトークラブ
8/20 入会	前畑 壮志	和歌山クラブ
7/14 入会	胡田 倫宏	大阪クラブ
7/14 入会	山原 雅弘	大阪クラブ



■部会情報

新型コロナウイルスの影響で、開催情報が遅れております。
詳細が整い次第に発信する予定です。

■周年例会情報

新型コロナウイルスの影響で、開催情報が遅れております。
詳細が整い次第に発信する予定です。

■西日本区大会情報

Let's do it now
2022に向けて誇りを持って
All is well.

2021年 6月5日(土)/6日(日)
ワイズメンズクラブ 国際協会
第24回西日本区大会
大会会場/懇親会:ウエステイン都ホテル京都



■西日本区事務所動向

令和2年6月末日退所 生雲文枝ワイズ(大阪なかのしまクラブ)
令和2年9月1日新任 中道京子メネット(神戸クラブ)

■理事事務局から

各クラブ、各部などで西日本区内に広く周知したい情報等があれば、
書記(安井) および理事事務局長(高倉) までお知らせください。
安井▶ 高倉▶

